

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成27年度)

2. 分野等別状況 (1)国際戦略総合特区(1/7)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区(愛知県等)	正	4.8	5.0 進捗度 ・我が国(中部地域(愛知県・岐阜県を中心とした5県))の航空宇宙産業の国際市場シェア 147% ・中部地域における航空宇宙関連輸出額 235% ・愛知・岐阜・三重・長野・静岡地域における航空宇宙関連の工場等の増設件数 196% 等	4.7 規制の特例等 ・工場等増設促進事業 等 財政支援等 ・人材育成・確保推進事業 等 地域独自の取組 ・21世紀高度先端産業立地補助金 等	4.8	<p>・航空機・部品の生産高については着実な成果につながっている。また、航空機類輸出金額の増加、工場等の増設件数とともに着実に航空産業の立地誘導につながる成果を上げていることが高く評価される。さらに、民間と行政との協調も良好であり、成功例の典型と言える。MRJの早期運航に期待している。</p> <p>・我が国の航空機産業の将来像が必ずしも明確ではないなど、不安材料はある。民間機を主体とした航空機産業の将来像、ビジネスモデルを描きつつ、自動車産業と並ぶ産業技術集積を創っていくことが求められる。</p> <p>・航空機産業における低炭素化に挑戦することも大きな課題。</p>

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)